

ゴミ拾いで使える補助金 / 新潟市

ボランティアでゴミ拾いをする場合、新潟市の区役所に連絡すれば「ゴミ袋の提供」「ゴミはさみの貸出」「集めたゴミの回収」の支援を受けることができます。

また、「地域清掃活動費等補助金制度」を使うことにより、一人あたり250円を上限として、その5分の4の補助を受けることができます。

例えば、ゴミ拾いの参加人数が80人で、清掃に必要な軍手や、終わったあとのシューズなどで、20,000円がかかった場合、その4/5である16,000円の補助金を受けることができるわけです。

対象は、自治会やコミュニティー協議会、PTA、その他団体となります。

「Eco列車でいこう!」～第90回 きらきらうえつと18きっぷ～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

12月18日(日)10時過ぎ。快速「きらきらうえつ」は8番線ホームに入線している。ひときわ明るい車両を前に、家族連れが記念撮影をしている。微笑ましい光景だ。10:14新潟発。運転席後ろの展望スペースは、子供や鉄道ファンで混雑している。2号車の売店に行って「お茶セット」(500円)を注文する。急須に入った村上茶と羊羹のセットでティータイムだ。職場の同僚らしい4人組は、午前中にもかかわらず缶ビールで乾杯し、笑い声が絶えない。皆、思い思いに旅を楽しんでいるようだ。

「豊栄」「新発田」「村上」で停車し、左の車窓に日本海が広がった。荒海に向かい、釣り人は何を狙っているのだろうか?曇天の向こうに、かろうじて粟島の姿が見える。

「あつみ温泉」で老夫婦の温泉客を降ろした後、トンネルをいくつか抜けて庄内平野に入ってきた。今回は普通列車・快速列車乗り放題の「青春18きっぷ」を持っているので、どこで降りるか迷う。下調べしてきた「鶴岡」のフルーツタルト、「余目」の温泉、「酒田」の海鮮丼、酒田ラーメン。どれも魅力的である。

「鶴岡」が近づくと雨が強くなってきたので、フルーツタルトは諦める。「余目」でも雨は止まない、結局終点の「酒田」まで来た。降りやまぬ雨の中、駅近くのラーメン店に入って「トビウオワンタンメン」(850円)を注文する。トビウオのやさしい出汁と甘めの醤油味スープがよく合う、大きなワンタンも入って、大満足だ。

「余目」まで戻って徒歩5分程の「庄内町ギャラリー温泉・町湯」へ。ここを訪れるのは3度目だ。ロウリュ(熱波)サウナで汗を流し、ひのきの香漂う内湯に浸かる。ギャラリー(休憩所)に行き、缶ビールでノドを潤した。

余目駅前の「なんでもバザールあつてば」で、山形名物の「赤かぶ漬け」などのおつまみを購入。帰りの「きらきらうえつ」でビールとともに味わった。

冬至間近の夕方。17時にはとっぴり日が暮れて、日本海を見ることはできない。時期によっては、夕日を肴に、贅沢な一杯が楽しめるのだが・・・。

新潟着は18:32。

暗闇を走ってくると、真夜中のような感覚になるが、夜はまだ始まったばかり。

居酒屋でもう一献してから家路に着いた。

